

静岡市都市山麓グリーンベルトの大内モデル地区において、 地元小学生のための里山教室を開催しました

清水高部小学校の5年生が、総合学習の一環として、NPO法人『森と水辺を育てる会』が主催する里山教室に参加し、ふるさとの自然環境を考えながら、これまで先輩たちが植樹してきた木々の周りの下草刈りや施肥を行い、土砂災害を防ぐ里山づくりを体験しました。

1 開催日時

平成27年6月11日（木）14:00～15:00

2 場所

静岡市都市山麓グリーンベルト区域内の清水大内モデル地区
(桃林寺（静岡市清水区大内788）の西側100mほどの杉谷津沢（すぎやつさわ）の斜面)

3 主催者

特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』

4 参加者

清水高部小学校の5年生2クラス約70名

5 里山教室の概要

- ・ 平成23年から毎年6月頃に開催（清水高部小学校の5年生が参加）
- ・ 里山教室では、植樹した木々周辺の下草刈り及び施肥等の里山づくりを通じて、土砂災害を防止する仕組みや自然環境、里山を守る必要性を学習する。

6 静岡市都市山麓グリーンベルトの概要

土砂災害危険箇所が366箇所と集中している静岡市の賤機山から興津川までの12kmの市街地北側山麓域を都市山麓グリーンベルト整備区域とし、そのうち竹林の拡大が著しい清水大内地区をモデル地区に指定し、静岡県と特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』との間で協定を結び、樹林帯の整備を行うことで、土砂災害の防止、無秩序な市街化防止、都市景観の保全・創出を目指します。

7 里山教室の様子

